

2003年10月8日

報道関係各位

ノバルティス（スイス）が発表しました、提携に関するリリースの日本語訳をご参考までにお届けします。

ノバルティス ファーマ株式会社

## ノバルティス社、抗潰瘍剤開発で三共（株）と提携

### 有力な新薬候補 CS-526 の胃食道逆流症および消化性潰瘍治療臨床試験を開始

バーゼル発、2003年10月8日 - ノバルティス社は、日本の三共株式会社と胃食道逆流症（GERD）と消化性潰瘍治療薬の共同開発ならびにその後の共同販売に関する契約に調印しました。本契約は現在第1相の臨床試験が開始されている三共（株）のCS-526 アシッドポンプアンタゴニストについて締結されたものです。この画期的な経口薬は、三共（株）と宇部興産（株）が発見しました。成功すれば、新しい可逆性アシッドポンプアンタゴニスト剤は、既存の胃酸分泌抑制薬による治療法に比べ、胃酸分泌抑制効果がより早く現われ、またよりすぐれた持続性を持つ可能性があり、したがって症状がより速やかに改善し、潰瘍が治癒するなどの利点を有することが期待されます。このプログラムには、4つのバックアップ化合物が含まれています。

本提携でノバルティス社はCS-526 もしくはそのバックアップ化合物について、日本および特定の中東の国々を除く全世界において、独占販売権（特定の国において三共の共同販売権は留保）を得ることになります。またノバルティス社と三共（株）は、米国およびEUの特定国およびその他の特定国において共同販促を行います。本提携で三共（株）は契約一時金とともに、開発および販売の各段階にマイルストーンを受け取ります。また、三共（株）は、共同販促する国以外の国における正味売上高に応じてロイヤリティを受け取ります。

開発の経費および共同販促する国における販売経費と利益については、両社が平等にシェアし、宇部興産（株）は同剤の原体製造を担当します。

成功すれば、本治療薬は、最近上市された過敏性腸症候群の画期的な治療薬であるゼルマック / ゼルノームに加えて、ノバルティス社の消化器疾患領域プレゼンスをさらに強化することになります。

#### GERD および消化性潰瘍について

GERD および消化性潰瘍の二つの疾患は、欧米ではもっとも発現頻度の高い疾患で、多くの患者が苦しみ、医療コストを押し上げている要因となっています。

GERD は世界人口の5-7%の男女、子供が罹患していると推定されます。最も顕著な症状はしつこい胸やけですが、逆流、嚥下困難あるいは嚥下に伴う痛み、のどの痛みや湯き、喘息患者がげいげいする、などの症状も現れます。消化性潰瘍は、腹部不快感、体重減少、食欲不振、浮腫、吐き気、嘔吐などの症状が伴います。

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けております Form 20-F をご参照ください。

#### 三共について

三共株式会社は日本の大手製薬会社のひとつで、世界における年間売り上げは4.8億米ドル。長期にわたり、画期的な新薬を開発し続けていることで知られています。

#### ノバルティス について

ノバルティスは、医薬品とコンシューマーヘルスにおける世界的リーダーです。ノバルティスグループ全体の2002年度の売り上げは209億ドル(約2兆4,871億円)で、純利益は47億ドル(約5,593億円)、研究開発への投資は約28億ドル(約3,332億円)でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約78,200人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。

詳細はインターネットをご覧ください <http://www.novartis.com>